

必ずお守りください。

安全上のご注意

⚠ 警 告

<リチウム電池について>
(1)この電池はリチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、使い方を間違えますと発火、発熱、漏液、破裂の原因となります。
(2)ショート、充電、分解、変形、加熱、火に入れるなどしないでください。
(3)電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲みこんだ場合には、直ちに医師と相談してください。
(4)電池を破棄する場合および保存の場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池と混ざると発火、破裂の原因となります。
<梱包用ポリ袋について>
ポリ袋は絶対にかぶらないでください。
<掛け具について>
掛け具を保管する際には、お子様の手の届かない場所へ保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注 意

<掛け方について>
時計は確実に掛けてください。
落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。
掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は掛け具に同梱の案内文も必ずお読みください。
記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。
※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く動かし、正しく掛かっていることを確認してください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき
添付の木ねじをご使用ください。

石膏ボードの壁に掛けるとき
添付の掛金具、釘をご使用ください。

コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき
添付の掛け具は使用しないでください。
市販の掛け具をご使用ください。
※市販の掛け具によっては正しい掛け方ができない場合があります。
<掛け方について>をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。



必ずお読みになってからご使用ください。

使用場所・お手入れ

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。
機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起すことがあります。また本商品は業務用ではありません。

暑い場所（+50℃以上）

寒い場所（-10℃以下）

振動の激しい場所

湿気の多い場所

●温度が+50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
●温度が-10℃（氷点下10度）以下になる所。
[プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。]
●壁、埃の多い所。
[空気中に舞上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。]
●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
[磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まる場合があります。]
●浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
●振動のある所。不安定な所。
●工場、台所など多くの油を使用する所。
[霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まる場合があります。]
●ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。
●木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きることがあります。

●電波ノイズを発生させるものの近く。
高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など電波障害の起きる所。
乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
●スチール机等の金属製の家具の上や近く、金属製の壁の近く。

⚠ 注 意

<補助電池について>
下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。
(1)⊕⊖を正しく入れてください。
(2)補助電池を交換するときは、指定の新しい電池と交換してください。また、時計を使わないときは補助電池をはずしてください。補助電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
(3)充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
(4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
(5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
(6)時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
(7)添付の補助電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

<時計の設置場所について>
落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

<液晶パネルについて>
液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。
万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
●皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
●目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
●飲み込んだ場合は、きれいな水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

必ずお読みになってからご使用ください。

使用場所・お手入れ

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。
プラスチック枠の時計の場合
●枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾かしてください。
木枠・金属枠の時計の場合
●よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾かしてください。
※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

光発電について

<光発電とは>
光をあてることでソーラーセルが光を電気に変換し、その電気で時計が動きます。明るさが一定以上の場合、時計内部の充電電池に充電をしながら、暗いときはその充電電池に貯めておいた電気で時計が動きます。

<使用場所について>
本製品は光発電により動く時計ですので、できるだけ明るい場所でご使用ください。

⚠ 注意

直射日光での充電は、絶対にしないでください。このソーラークロックは、屋内専用です。直射日光をあてると、光発電の能力が低下したり、故障の原因となります。

液晶パネルについて

●見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
●温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
●温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
●液晶パネル面に触れないでください。表示が薄くなったりムラになることがあります。しばらく放置しますと元に戻ります。

製品仕様

- 精 度：平均月差±20秒
(電波受信による時刻修正を行わない場合)
(気温5℃から35℃で使用した場合)
 - 使用温度範囲：-10℃～+50℃
(ただし表示判読可能温度範囲0℃～+40℃)
 - ソーラーセル：薄膜太陽電池
 - 充電電池：コイン型リチウム充電電池
 - 補助電池：円筒型リチウム電池（CR123A）1個
 - 補助電池寿命：①200ルクスの明るさを1日あたり8時間以上受けた場合、補助電池を減らす動き続けます。
②50ルクスの明るさを1日あたり8時間受けた場合の補助電池の寿命は約2.5年です。
③発電しない状態で補助電池の寿命は約2年です
 - 電波受信機能：自動受信
・毎日午前2時にすべての信号（カレンダー/時刻）を受信します。以後3時間ごとに時刻の補正を繰り返します。
・受信から次の受信まではクオーツの精度で動いています。
手動受信
※2つの電波（40kHz、60kHz）のうち、最適な一方を選択し、受信します。
 - 受信結果確認機能：受信結果を液晶表示部に表示
 - 時刻合せ機能：電波受信による自動セットまたは手動セット
 - カレンダー：2004年1月1日～2103年12月31日のフルオートカレンダー
 - 液晶表示：日付（月/日、曜日）
 - 光センサーによる自動秒針停止機能：暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。
 - 電池切れ予告機能：秒針が「12時の位置」で停止して、補助電池の交換時期をお知らせします。
 - 明るさテスト機能：ボタン操作により明るさテスト結果をLEDライトで表示します。
- ※指針（針の表示）誤差について
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合があります。
秒針、分針、時針共通：±2度以内
（1分単位の日盛がある場合は1/3日盛相当以内）
※上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。
保証の内容については別添の保証書をご覧ください。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用品は、7年間保証しています。
この期間は原則として修理が可能です。
修理用品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただきます。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。
- 保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持込みいただけます。修理を依頼されるときはお買い上げ店にご持参ください。
- ご不明の点はお客様センターにお問い合わせください。

SEIKO

掛時計

取扱説明書

電波クロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。

(例：AM000、PW000、K000など)

フリーダイヤル
お客様センター ☎ 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元
セイコークロック株式会社

① 説明書番号 ASF-007J

故障かなと思ったときには

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。

症 状	考えられる原因	処 置
針が動かない	・補助電池が入っていない。 ・補助電池が正しい向きで入っていない。 ・電池端子や接片が汚れている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。 ・電池を入れ直してから確実にリセットボタンを押してください。 ・電池端子や接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて2～3回まわして、リセットボタンを押してください。
針が不規則に動く 秒針が「12時の位置」で停止している	・静電気などによりマイコンが誤作動している。 ・手動受信中または時刻修正中である。 ・スタートスイッチが「スタート」になっていない。	・リセットボタンを押してください。 ・受信終了後、通常の運針に戻ります。 ・スタートスイッチを「スタート」に合わせてください。
スイッチ操作が効かない	・自動受信中である。 ・受信に成功し、時刻修正中である。 ・リセット後、受信動作中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。 ・時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。
時刻が合っていない	・受信に成功していない。 ・補助電池の容量が少なくなっている。	・裏面「■電波が受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。
	・きちんとリセットされていない。	・確実にリセットボタンを押してください。

特長

■補助電池付きソーラークロックについて

- 光を電気エネルギーに変換して動く時計です。
- 薄暗い場所でも補助電池で長期間ご使用になれます。
- 光センサーの働きにより、暗くなると自動的に秒針を止め、エネルギーの消費をおさえます。

■明るさテスト機能つき

お使いの場所の明るさをテストする「明るさテストボタン」が付いていますので、安心してご使用いただけます。

■電池切れ予告機能つき

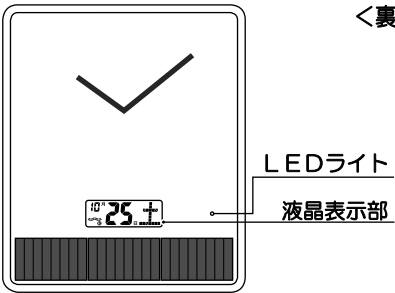
秒針が「12時の位置」で停止して、補助電池の交換時期をお知らせします。

ご使用方法

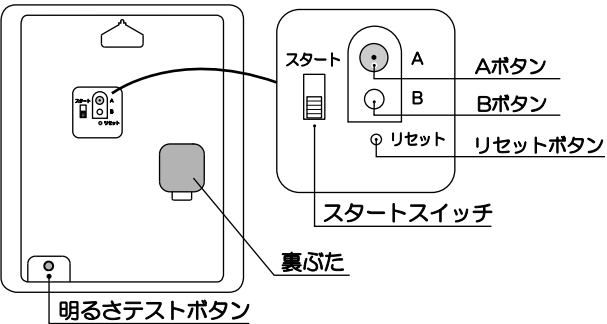
■操作部

時計のデザインにより電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。

＜正面＞



＜裏面＞



ご使用の前に付属品をご確認ください。

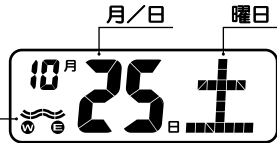
- 円筒型リチウム電池1個（本体にセット済み）
- 掛け具 ①木ねじ1本
 - 木の厚い壁・木の柱専用②掛金具1個、釘5本（うち1本は予備）
 - 石膏ボードの壁専用
- 取扱説明書（本書）1枚
- 保証書1枚

■液晶表示部

受信マーク

電波の受信状態を表示します。電波の受信中または24時間以内に電波の受信に成功していると表示されます。

- を表示：福島送信所からの電波を受信
- を表示：九州送信所からの電波を受信



■ご使用方法

1. スタートスイッチを「スタート」の位置に合わせてください

受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。

- 秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、電波受信を開始します。
（1:50, 3:10, 5:50, 6:10, 8:30, 9:10, 11:10, 12:10）
- 受信中（最長約20分間）は受信マーク  が受信状態に応じて変化します。
（上記「■液晶表示部」をご覧ください。）

＜受信に成功した場合＞

受信マーク  が表示され、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。その後「0秒」になると同時に秒針が動き出します。



＜受信できなかった場合＞

受信マーク  が消え、ただちに針が動き出します。このとき時刻修正は行いません。



右記「■電波が受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

注）補助電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

2. お使いになる場所を決めてください

裏面の明るさテストボタンを押して、時計前面のLEDライトが点灯することを確認してください。LEDライトが点灯する場所は光発電ができる場所です。

- 下記の表を参考にして、お使いになる場所を決めてください。

LEDライトの状態	照度	環境の目安	1日に光が当たる時間と補助電池の寿命の関係
“緑”が点灯	200ルクス以上	一般家庭の明るい場所	8時間以上で動き続ける
“赤”が点灯	50ルクス以上	一般家庭の薄暗い場所	8時間で2.5年以上

注）

- 照明の種類によっては、200ルクス前後でLEDライトの“赤”“緑”が同時に点灯することがあります。
- 窓際などでできるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

■使用上のご注意

- 指針（針の表示）誤差について

アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合があります。秒針、分針、時針共通：±2度以内（1分単位の目盛がある場合は1/3目盛相当以内）

- 海外でのご使用について

この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外では電波修正機能のご使用はできません。右記「**その他の機能**」「■自動受信を止めるには」をご参照のうえご使用ください。

その他の機能

■自動受信について

毎日午前2時に2つの電波（40kHz、60kHz）のうち、最適な一方を選択し、すべての信号（カレンダー/時刻）を受信します。以後3時間ごとに時刻の補正を繰り返します。

- 受信中（最長約20分間）は針が不規則な動きをすることがあります。

秒針：12時の位置で停止
分針：約30秒毎に運針

■電波が受信できなかった場合

1. 電波を手動で受信させ、時刻を合わせる

Aボタンを受信マーク  が点滅するまで（約2秒）押し続けると、針が停止し受信を開始します。受信に要する時間は、最長約20分間です。

- 受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えてもう一度受信させてください。
- 詳しくは「**電波クロックについて**」をご覧ください。
また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

- ① Bボタンを液晶表示部が年合わせ表示に切り替わるまで（約2秒）押し続けてください。
- ② Bボタンを押すごとに下図のように順に表示が点滅します。
- ③ Aボタンで日付や時刻を合わせてください。

- Aボタンを押し続けている間は早送りします。
- 約5分以上ボタンが押されなかった場合は、自動的に通常表示に戻ります。
- 時刻や日付を変更した場合は、受信マーク  が消えます。
- 時刻を合わせている間は、針は停止します。



【通常表示】

普段はこの表示でお使いください。



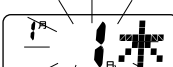
【年合わせ表示】

Aボタンで年を合わせてください。
年は2004年～2103年まで合わせられます。
曜日は自動的に合わせます。



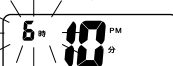
【月合わせ表示】

Aボタンで月を合わせてください。
曜日は自動的に合わせます。



【日合わせ表示】

Aボタンで日を合わせてください。
曜日は自動的に合わせます。



【時合わせ表示】

Aボタン時を合わせてください。



【分合わせ表示】

Aボタンで分を合わせてください。

- ④ 日付・時刻合わせが終了しましたら、Bボタンを時報に合わせて押してください。秒表示に切り替わり「0秒」から動き出します。その後 通常表示 に戻ります。
- 時刻を変更した場合は、針は自動的に修正されます。
その後「0秒」に合わせて秒針が動き出します。

■自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。（誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合などにご使用ください。）

- ① スタートスイッチを「スタート」の位置に合わせてリセットボタンを押してください。その後、Aボタンを受信マーク  が消えるまで（約7秒）押し続けてください。
- ② 秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止します。
（1:50, 3:10, 5:50, 6:10, 8:30, 9:10, 11:10, 12:10）
- ③ 秒針が動き出したら、上記「■電波が受信できなかった場合 2.手動で時刻を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。

- この機能を設定した後もAボタンを受信マーク  が表示されるまで（約2秒）押し続けると手動受信を開始しますが、その後自動受信はしません。
- この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

注）通常ご使用の状態で自動受信を止めるには、Aボタンを受信マーク  が一旦表示され、その後消えるまで（約7秒）押し続けてください。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは

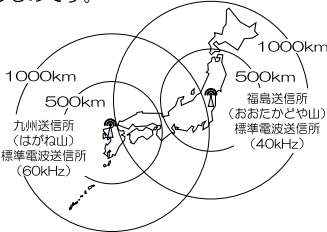
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2ヵ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2ヶ所）からおおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。お客様センターにお問い合わせください。（ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>）
- 使用場所について
本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
 - ビルの中、ビルの谷間、地下。
 - 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
 - テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
 - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
 - 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
 - その他電波ノイズを発生させるものの近く。
 - スチール机等の金属製の家具の上や近く。



■光センサーによる自動秒針停止機能について

光センサーにより明るさを検出し、暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。明るくなると「0秒」に合わせて秒針が動き出します。

- 秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示しています。

■電池切れ予告機能について

この時計には補助電池の電池切れ予告機能がついています。補助電池の残量が少なくなると、明るいときでも秒針が「12時の位置」で停止し、電池交換時期がきたことをお知らせします。新しい電池に交換してください。

- 秒針が停止している間でも、時分針は電池がなくなるまで動き続けます。
- 秒針が停止すると、充電電池を充電しても補助電池を交換するまで秒針は動きません。

■補助電池の交換方法

1. 補助電池を交換してください

（円筒型リチウム電池（CR123A）1個）

裏ぶたを開けて古い電池をはずし、新しい電池を入れてください。

⊕⊖をまちがえないように注意してください。

2. リセットボタンを押してください

受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。

- 秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、電波受信を開始します。
（1:50, 3:10, 5:50, 6:10, 8:30, 9:10, 11:10, 12:10）

- 受信中（最長約20分間）は受信マーク  が受信状態に応じて変化します。
（左記「■液晶表示部」をご覧ください。）

＜受信に成功した場合＞

受信マーク  が表示され、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。その後「0秒」になると同時に秒針が動き出します。

＜受信できなかった場合＞

受信マーク  が消え、ただちに針が動き出します。このとき時刻修正は行いません。

左記「■電波が受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

注）補助電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。